

南木曾町内発生土置き場（尾越）及び南木曾町内発生土仮置き場（尾越）
における環境の調査及び影響検討の結果並びに環境保全に対する意見

所属名 もっと元気に戦略室

意見内容

計画及び各種法令に則り安全に施工するとともに、地域住民からの意見、要望に対し適切に対応し、丁寧な説明に努められたい。具体的な内容については、以下のことに配慮されたい。

(全般)

- ・工事や環境保全措置の実施状況等を積極的に公表するとともに、地域住民等に対して引き続き丁寧で分かりやすい説明を行うこと。

(工事用車両の運行)

- ・工事用車両の運行にあたっては、現地の状況に合わせ環境保全に資する設備の設置等の対策を実施した上で、引き続き歩行者の安全確保、スクールバス・地域バス・地元車両とのすれ違い等が円滑に行えるよう、一般車優先で通行すること。
- ・町道起線と国道 256 号の交差点から発生土仮置き場（尾越）搬入口までの距離が短く、ダンプトラック等があまりスピードを出せないことが推測される。国道 256 号を通行する一般車、特に蘭・広瀬方面から来る一般車は坂を下って来るため、かなりスピードが出ていることが容易に想定されるので、適切な交通安全対策を実施し、事故の発生防止を図った上で通行するとともに、必要に応じて追加の措置を講じること。

(大気環境)

- ・発生土置き場（尾越）及び発生土仮置き場（尾越）のある地域は、風が強く、細かい砂が舞うとの地域住民の声があるため、発生土の運搬、盛土の造成等にあたって、現場の清掃や散水を適切に行い、粉じん等の発生を低減するとともに、必要に応じて追加の措置を講じること。

(水環境)

- ・5 万分の 1 地質図幅「妻籠」によると、尾越非常口周辺には重金属のアンチモンを含む鉱床が存在する可能性がある。アンチモンは土壤汚染対策には含まれていないが、水質汚濁防止の観点から国は要監視項目として指針値を定めており、水環境への影響を懸念する声もある。アンチモンという聞きなれない不詳の物質に対する漠然とした不安もあると思われるため、こうした懸念や不安のふっしょくのために丁寧な説明と適切な対応をすること。

(土壌環境)

- ・発生土置き場（尾越）での法面、斜面の保護に使用する植生マットは、外来種を含有しないなど適切な製品を使用すること。
- ・保全計画書では、区分土の運搬にあたって、「出場時にタイヤ洗浄や靴洗浄等を励行」するとあるが、区分土以外の健全土の運搬にあたっては、ヤードや発生土置き場（尾越）、発生土仮置き場（尾越）からの出場時にタイヤ洗浄等を実施し、植物の種子を外へ持ち出さないようにすること。

(モニタリング)

- ・モニタリングの結果について、異常時は速やかに町へ報告するとともに、平常時も定期的に町及び地域住民に報告、周知に努めること。

(発生土置き場及び発生土仮置き場の管理計画)

- ・法令及び既定の土木基準に基づいて安全に施工するとともに、地域の理解を得るために設計指針や管理基準、必要に応じた対応策などを明確にして、不安の解消に努めること。
- ・発生土置き場及び発生土仮置き場の管理にあたっては、保全計画書記載の内容の他、町と取交した確認書（資料）や対策協議会、地元説明会で説明した内容を遵守し、恒久的な維持管理を行うこと。また、施工後の発生土置き場の維持管理について、町等の関係機関と十分に協議を行い、継続的に盛土の安定性が確保されるよう対応すること。

(その他)

- ・計画または取り決め等がない異常の事案が発生した場合には、原因の如何にかかわらず、町と協議する体制を整えること。また、工事後においても環境保全に関する監視を継続的に行うこと。